

令和4年度第1回日進市障害者自立支援協議会議事要旨

日 時 令和4年7月19日(火) 午前10時～11時45分

場 所 日進市立図書館 1階視聴覚ホール

出席委員

(会場) 平澤恵美、幸村和子、伊東幸仁、木村文博、興梠精視、中島範子、岡元洋子、近藤文子、巾和志、當日眞緒(敬称略)

(オンライン) 丸子哲郎、浅井里美、河端祐子、田中美保乃、松島弘治、橋口磨理子、井上亘、後藤文吾、松尾俊明、奥澤弘子、中野英子(敬称略)

欠席委員 吉澤洵、山本かおり(敬称略)

部会長 大嶋翔太、澤田勢津子、竹内由美子(敬称略) ※説明のため出席

事務局 川本賀津三(健康福祉部長)、伊東あゆみ(健康福祉部参事)、祖父江直文(健康福祉部次長兼地域福祉課長)、野村圭一(同係長)、梅村英子(介護福祉課長)、小塚佳子(同課長補佐)、稲葉亮(同係長)、鈴木敦詞(子育て支援課長)、川上裕子(同係長)、小塚多佳子(障害者福祉センター施設長)、市川英子(障害者相談支援センター長)、福田有輝(同係長)、橋本花実(同相談員)、森彩(同相談員)

傍聴の可否 可

傍聴の有無 無

議事事項等

1 あいさつ

2 新任委員委嘱及び自己紹介

3 議 事

(1) 令和3年度障害者福祉センター事業実績について

(2) 令和4年度障害者福祉センター事業計画について

(3) 日進市障害者自立支援協議会専門部会活動報告・今後の取組みについて

(4) 第6期日進市障害福祉計画・第2期日進市障害児福祉計画の評価(令和3年度実績)について

4 その他

発言者	内 容
	1 開会(あいさつ) 2 新任委員委嘱及び自己紹介 3 新人事務局職員あいさつ 4 資料確認 5 傍聴の有無の確認(申し出無し)
会 長	議題(1)令和3年度障害者福祉センター事業実績について、

	<p>続けて議題(2)令和4年度障害者福祉センター事業計画について説明をお願いします。</p>
事務局(センター)	資料により説明
会長	<p>ただいまの説明についてご質問、ご意見等ありますか。 (委員より挙手が無く、会長から発言)</p> <p>区分認定調査の数が昨年度より41件増えていますが、要因やきっかけがあるのか教えてください。</p> <p>また、日進市でセルフプランの方の数は障害児、障害者それぞれのくらいいらっしゃるのか、おわかりでしたら教えてください。</p> <p>また、総合相談が1,300件増えていますが、これはどのような相談が多かったのか、もしわかれば教えてください。</p>
事務局(センター)	<p>まず、区分認定調査の件数の増加については、対応できる職員が充実してきたという点もあると思いますし、また、日進市において区分認定調査の必要な方の絶対数が増えてきたことが要因になっていると思います。</p>
事務局(子育て支援課)	<p>障害者はセルフプランの方はいません。障害児では、すすく園に単独通園のお子さん、小学生で放課後等デイサービスを利用されている方の中で支給量が変わらない方については一部、セルフプランの方がいます。今、資料がなく具体的な件数は申し上げられませんが、年間100件くらいはあると思います。</p>
会長	<p>障害者はほぼ全員、相談員が計画を作成されているという理解でよろしいですか。</p>
事務局(子育て支援課)	<p>そうです。障害者は100%計画を作成しています。</p>
会長	<p>名古屋市だとけっこうセルフプランの方もみえます。現場にいてよく感じるのは、相談相手や連携する人がたくさんいれば予防にもつながるし、支援しやすい、連携しやすいという意味で相談員さんの重要性はとても強く感じています。今後もセルフではなく相談員をつけて対応していくことは重要だと思います。</p> <p>総合相談の数が増えているのはどうしてですか？</p>
事務局(センター)	<p>内容として一番多いのは、就労支援や生活のこと、ヘルパー等のサービス利用についてのご相談です。相談数の伸びに関しては、令和3年度は令和2年度と比較して関係機関に出向く機会を増やし、それに伴って早期の発見に繋がるという</p>

	<p>ことが増えてきたという印象を持っています。こういったことは非常に大事になっており、少しずつではありますが、ちょっと気になるという段階から相談してくださいということを積極的に呼びかけておりますので、もっと市民の皆様にも浸透していくようにやっていきたいと思っております。</p>
委員	<p>4 ページの子ども発達支援(すくすく園通園)事業ですが、園の中にクラスがあり、実利用者数は178人ですが、ひとつの園の中に178名の方が毎日通われているのでしょうか？</p>
事務局(センター)	<p>178名が実利用の方で、その方に応じて週1回とか週2回とか、その方に必要な分だけ登園いただいております。</p>
委員	<p>個別支援会議の開催回数は32回とあるが、うちの事業所としては昼間の開催だと人員を取られるのできついところはあるが、個別支援会議はやった方がいいと思っておりますが、年間32回は多いのでしょうか？</p>
事務局(センター)	<p>昨年度と比較してほぼ同数ですので、大体毎年このくらいの数です。会議は小さいものから大きいものまで様々ではありますが、例年通りとなっていると思っております。</p>
委員	<p>うちの事業所で解決しようと思っているが、大変な方もいらっしゃるのでは、色々なことを個別に支援会議ができたらいいと思っております。</p>
会長	<p>どのようなケースが個別支援会議になりますか？</p>
事務局(センター)	<p>今まで使っていたサービスを大きく変えるときや、例えばグループホームを退所して自宅で過ごすようになる時であれば、今までほぼ24時間の支援を受けていた方が自宅で過ごすようになるので、どういった関係機関がどういった支援をしていくのか、本人やご家族を交えて話します。環境が大きく変化する時は皆様に集まっていただき、相談員の知恵だけでは足りない部分を各支援機関にご意見いただいております。</p>
委員	<p>相談員がすごく忙しくて会議ができないということではないのでしょうか？</p>
事務局(センター)	<p>必要に応じて開催するようにはしています。</p>
会長	<p>現場から会議をしてほしいという要望を出せば開催していただけるのですか？</p>
事務局(センター)	<p>実際に支援機関から、お声をいただいたこともあり、必要に応じて開催させていただいております。</p>
委員	<p>資料に待機児童等の有無は書いてないですが、私の息子も</p>

	<p>すくすく園でお世話になっていて、その時代から待機児童は結構いました。噂では午後クラスからしか入れないと聞いたことがあります。すくすく園のいいところは、母子登園から始まって単独クラスに移るといところが重要だと思いますが、いきなり子どもだけ午後クラスに入れてしまっても親が学べないので、家に帰ってから大変だという声が上がっていました。今、待機児童はどのくらいいますか？</p>
<p>委員（日進市子ども発達支援センター）</p>	<p>今年度はまだ少し親子クラスに空きがありますが、毎月の入園検討会ごとに数名ずつ埋まっています。午後クラスは、親子クラスから始まり午前の単独クラスを経た後、就学に向けて知的にそれほど問題はないが衝動性があったりとか社会性を強化してあげたいお子さんを対象にしています。いきなり午後クラスのケースも年に数名あるが、たいていは年長で、身辺自立が終わっていて、保護者と話し合い、相談員含めて検討して納得した上で入園していただいています。</p>
<p>委員</p>	<p>巡回支援専門員整備事業の中で巡回相談をされていますが、どういう基準で回っていますか？それぞれの学校によって多いところ少ないところがあったり、一度も行ったことがないところがあったり。中学校では西中学校が示されていませんが、それはどうしてなのか教えてください。</p>
<p>事務局（センター）</p>	<p>こちらにつきましては、教育機関や保育機関から気になるという声をいただき、そこに心理士などの専門職が対応することになっています。それにより保育園、幼稚園によって数のばらつきがあります。広く対応しているわけではなく、声が上がった方について対応しています。</p>
<p>委員</p>	<p>巡回相談について、結構数がありますが、保健センターでも1歳半健診や3歳児健診があるが、そこで気付くのと小学生や中学生になってから気づくのと、バランスはどうなっていますか？1歳半や3歳でも気づく人はいるけど、同じくらい小学生や中学生で気づく人たちがいるのでしょうか？</p>
<p>事務局（センター）</p>	<p>保健センターから1歳半、3歳児健診などでこちらにくる情報と巡回の数字においての正確な比較はわかりません。ただ、発達の気になる子について、保健センターから相談員に繋がる体制は整っておりますし、学校に通っている子についていえば、例えば、すくすく園の卒園児であったり、ずっと普通学級にいたけれども何かしらの躓きがあった子についても、学校から声を上げていただいた子については相談員が</p>

	巡回に赴く体制が整っています。また数が分かりましたら、そのタイミングでお知らせしたいと思います。
委員	私の息子は1歳半健診でほぼ気づけませんでした。そこで他の子たちとの差を知って親が気づくタイミングにはなると思いますが、その時点で発達のことを相談したらどうですかと言われても、受け入れられません。小さいとまだまだ成長する可能性を考えてしまうので。徐々に受け入れて、すすく園に相談し、「ああ、やっぱりな」となりました。小さい頃の気づきは難しく、受け入れられない親が多いと思います。
委員	子ども発達支援事業について。すすく園や学校で過ごしている子たちが主なのでしょうか？そういうところに行けないで家にいる子たちもいるのでしょうか？
事務局（センター）	そういったケースの確認はできていません。あくまで教育機関、保育機関から相談いただいた場合での数となっています。例えば、ご家族などから、幼稚園や保育園、学校に行けず家にいるといったご相談が入るケースはありますので、その都度、相談員が対応しています。
委員	4ページ(3)巡回相談について、今の段階での成果、気づいた問題点を教えてください。
事務局（センター）	専門職が少し気になるという段階から早い段階でのアプローチが可能となっています。その段階で学校の先生と専門職とご家族で話し合いの場を設けたり、そういったアプローチが巡回相談によって可能になっていると思います。年々多くなっているのは予防段階のお声が多くなってきているという印象を受けています。
委員	今の段階ですくすく園、学校との大きな隔たり、環境の違いがありますか？考え方の差があるとか。本来、人は小さい時からどんどん育ち大人になりますが、一生の中で人自体は変わりません。その中で、次の段階に進む段階で環境が変わり、例えば教育と療育は違うと言われるが、そういった感覚の違いは巡回を通して隔たりは感じますか？問題点と今後、気をつけていくことが分かれば教えてください。
委員 (日進市子ども発達支援センター)	園自体にも特色があります。幼稚園や保育園に関しては、すすく園と並行して通っている方もみえるということもありまして、その子に対しての適切な対応の仕方だったり、保育士の在り方であったりをお伝えして、実践していただき

	<p>上手くいくこともあります。私立の幼稚園となると園独自の方針があります。その辺は相手方の先生と話し合いを重ねて折り合いをつけていきます。子ども部会でも、学校教育の現場と療育の現場では隔たりがあるということで、特別支援コーディネーターを配置しまして、支援の在り方を伝えていこうということ研修等を通してやっています。</p>
<p>委員 (日進市教育委員会)</p>	<p>学校とすすく園の事業が連携して子どもたちの支援に役立つように、より一層今後も連携を深めていかなければいけないと感じています。療育と教育は生きる力を育むという点においては共通の目標ですが、学校は勉強で生きる力を育むという点で隔たりがあると思っています。特別支援教育支援員が出来て3年目になります。就学相談に乗らせていただいて、この時点で50名を超すご相談を受けていて、今、順次、学校にご案内をしていて、学校の環境を見ていただいて、お子さんにとって一番良い就学の場を一緒に考えていきたいと思いますという案内をさせていただいております。7月いっぱいまでご案内し、9月からはお子さんを連れてきていただいてご案内します。そして、夏休みに入る期間に私がすすく園にお邪魔したり、他の市内の療育施設に通っていたり、保育園や幼稚園に通っている方もあるので、そこへ足を運ばせていただいて、お子さんの様子を見ながら、色々な方と相談をしながら一番良い場を考えていくということで連携していきたいと思っています。今後もそういった機関と繋ぐ役割をしていきたいと思っています。</p>
<p>会長</p>	<p>巡回について色々なご質問をいただきました。連携の大切さに加えて、家から出られない方に対してアウトリーチ支援は重要。予防と言う観点から考えても必要な支援かと思えます。その辺も地域の方でも今後の方向性を考えていただきながら、在宅の方の支援の在り方を考えていただければと思います。よろしくお願いします。</p>
<p>会長</p>	<p>続きまして、議題(3)日進市障害者自立支援協議会専門部会活動報告・今後の取組みについて各部会の部会長から説明を求めます。</p>
<p>各部会長</p>	<p>資料3により説明</p>
<p>会長</p>	<p>ただ今の説明について、委員の皆さまから多様なご意見をいただき、意見交換ができればと思います。</p> <p>4つの部会全体を通して、ご意見または感想でも結構です</p>

	ので、皆さまいかがでしょうか。
委員	子ども部会の受診サポートカードは私も利用しています。保護者の中ですごく良いという話になり、苦手なことを書いたりして通院時に出しています。うちの病院は協力していますという風に賛同している病院が分かれると親としては安心です。子どもにとっても親にとっても、病院＝恐怖なので、あともう少し踏み込んだシステムになると嬉しいです。
部会長（子ども部会）	部会の中でもサポートカードの周知について検討している所です。作成してから周知があまり出来ていないので今年度は周知を強化してより多くの人に知って頂き利用してもらえようように話し合いをしています。医療関係の方にも幅広く理解して頂き活用してもらえようように動いていきたいと思えます。貴重なご意見ありがとうございました。
委員	インシデントプロセス法を用いた方法で事例検討してみたの感想を知りたいです。
部会長（ケアマネジメント部会）	インシデントプロセス法自体は昔からあります。私が入職した 25 年前にはその手法はありました。事例が起こった地点まで戻ってその時どうすれば良いかを考える練習を積む。いろんな意見を聞いて最善の方法は何かを導き出す。導き出したものを 2 週間くらい実践して検証するというものになります。勉強してみたいという方がいたのでその事業所の中でやっているとは思っています。うちの事業所では、ケース対応でその時どう思っていたのか、どういうことをしたのか、誰がどこでなどを詳細に振り返ることで職員本人が気づいたり、周りが気づくというような形でケースを検討しています。インシデントプロセス法を正確に行っているわけではないが、ケースで何かあれば必ず振り返るようにしています。この手法は、職員自身が自分の気持ちに気づくことができるというところが良いのかなと思います。
会長	ケアマネジメント部会で取り上げられた事例について教えてください。
部会長（ケアマネジメント部会）	その時々職員の困りごとです。自閉症の方はこだわりの行動が多く、ドアを蹴って壊すなどあります。例えば、どんなときにそうなるか検証してみたところ、特定の職員にこだわられる事例は、ある決まったタイミングで他害が起こりやすいことがわかり、また、暴れて引っ掻いたりした後には必ず発作が起こる事例について、発作の前に気持ち悪く

	なり、その表現方法が引っ掻くという行動だったとわかりました。
会 長	事例はどこかに蓄積して保管しているのですか？
部会長（ケアマネジメント部会）	事務局で置いていると思います。
会 長	他の事業所でも同じような困りごとがあると思うので、せっかく検討して頂いているので形になると良いと思います。
事務局（地域福祉課）	少し補足をさせていただきます。ケアマネジメント部会でインシデントプロセス法の研修を実施した意味は、そこで事例を検証していくというよりは、その手法を各事業所に持ち帰って頂いて各事業所内で事例検討や研修を行っていただきたいという主旨で人材育成にも繋げていきたいという意味合いが大きいかなと思います。会長がおっしゃった事例の蓄積ということと言いますと、昨年度末から現在も毎月2つずつ行っています。事例に対してどういうところが課題か、住民への普及啓発か、人材育成か、医療機関との連携が課題なのか等の事例検討をしています。こちらの蓄積がもう少し出来ていくと色んなところがみえてくるのかなと思います。
会 長	よくわかりました。事例の蓄積は大事なかなと思いますのでご検討いただければと思います。
委 員	精神障害者にも対応する地域包括ケアシステムの構築について。部会には精神障害の立場の方はゆったり工房職員以外の方の参加はありますか？
事務局（地域福祉課）	部会員としてはゆったり工房の職員の方に参加いただいでいて、他の事業所からもいらっしゃいます。あと、ゆったり工房の利用者さんにも来ていただいたこともあります。その中でこれまでの生活の中での課題や上手くいったことを話して頂いたり、様々な事例を相談員や事業所の方からお話を頂いています。
委 員	子ども部会で特別支援教育コーディネーター研修をされていて、とても良いことだと思いますが、うちの子どもが学校に行っていた数年前、コーディネーターの先生が誰なのか生徒や保護者にあまり伝わっていなかったように思うので、伝えてほしいです。
委 員（日進市教育委員会）	学校にこの意見を伝えていきたいと思います。ありがとうございます。
委 員	子ども部会と就労部会で動画を作って発信されているが、

	誰でも見る事ができて、出向いていけない人も見る事ができ、障害がない人も知ることができてとても良いと思います。今後もずっとみられるのでしょうか。
事務局（センター）	それぞれ就労部会、子ども部会と動画を作成させていただいています。もともと作成の経緯はコロナ対策で始めました。おっしゃるとおり、いつ、どこでも見られるというメリットがあると思います。ただ、情報はどんどん更新されていくものだと思いますので、事務局としてもその都度一人でも多くの方の目に触れられるようにやっていきたいと思っています。
委員	<p>障害者福祉センターの実績で、個別相談件数の合計は成人と児童で分けてあるのでわかりやすいです。8ページ、支援内容×障害種別は大人も子どもも含めた人数ということですよ？</p> <p>年齢別に未就学児、小学生～高校生、成人の3段階に分けると相談内容とどんなことに困っているのかが年齢別に内訳が分かり日進の傾向もつかみやすい。年齢別の数字がわかれば教えて頂きたい。</p>
事務局（センター）	相談員は相談を受ける度に相談システムに入力して記録を残しているが、年齢で集計ができるか確認し示し方については今後検討していきたいと思っています。
会長	<p>それでは、今回、皆さまにいただいたご意見を各部会に持ち帰っていただき、検討を進めていただきたいと思います。よろしく申し上げます。</p> <p>続きまして、議題（4）第6期日進市障害福祉計画・第2期日進市障害児福祉計画の評価（令和3年度実績）について事務局より説明をお願いします</p>
事務局（介護福祉課）	資料4～6により説明
会長	ただいまの説明に関して、ご質問、ご意見等ございますか。
委員	確認ですが、第6期日進市障害者福祉計画と第2期障害児福祉計画の令和3年度の評価案に対する意見等の提出書を頂いているが、資料4の中から成果や目標を成果指標に対する分析評価を意見、改善方法があれば記入して提出するという理解でよろしいでしょうか。
事務局（介護福祉課）	目標が1～7まであるので、成果目標に対してこうした方がいい、こう思うなどの意見を書いて提出してください。補足ですが、ワードのデータ等を送ることも可能です。メール

	<p>で回答いただいてもかまいません。会議終了後にアドレスを把握している方については、ワードのデータを送ります。よろしくお願ひします。</p>
会 長	<p>次回は11月になりますが、コロナの影響なく開催できることを祈りつつ、開催方法を考えていきたいと思ひます。</p> <p>それでは、これで議事を終わりたいと思ひます。委員の皆さまには、円滑な議事の進行にご協力いただき、ありがとうございました。事務局に進行をお返しします。</p>
事務局（センター）	<p>会長ありがとうございました。</p> <p>次第4「その他」について、地域福祉課から願ひします。</p>
事務局（地域福祉課）	<p>資料はありませんが、次の計画策定についてお知らせします。現在、第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画について計画期間が令和5年度までとなっています。また、この計画とは別に障害者基本法に基づき、日進市障害者基本計画がありまして、こちらも令和5年度までとなっています。</p> <p>令和6年度にこれらの計画のスタート時期が同じになることもあり、障害者基本計画、障害福祉計画、障害児福祉計画は令和6年度から一体的に作成していきたいと思ひます。正式な決定は、8月の障害者政策委員会で諮り正式決定となりますが、その方向で検討している所でございます。それに伴ひ、自立支援協議会も今年は3回の開催を予定していますが、来年度については計画策定年度にあたるということで、回数も1回増えます。</p> <p>また、今年度後半は障害をお持ちの方や障害サービス事業所等へのアンケートについても実施がござひますので、また議題としてあげますのでよろしく願ひいたします。</p> <p>具体的なスケジュールについては、11月の自立支援協議会でお示しできるかと思ひますので、よろしく願ひいたします。以上です。</p>
事務局（センター）	<p>質問もないようですので、これで、第1回日進市障害者自立支援協議会を終了いたします。本日は、活発なご議論を頂き、誠にありがとうございました。次回の協議会は、少し先になりますが、11月1日（火）午前10時から日進市民会館で予定しておりますので、よろしく願ひします。</p>